

平成20年4月30日

沖縄電力株式会社

平成19年度 決算について

1. 販売の状況

平成19年度の電気の需要は、家庭用電灯や業務用電力などの民生用において、お客さま数の増加があったことにより、前年度を1.9%上回りました。

また、産業用においても、高圧電力A（契約電力500kW未満の小規模工場等）において、お客さま数の増加があったことにより、前年度を0.2%上回りました。

これを電灯、電力別に見ますと、電灯が前年度に比べ2.2%増の29億45百万kWh、電力が1.2%増の45億46百万kWh、販売電力量合計では、1.6%増の74億91百万kWhとなりました。

(単位：百万kWh)

		平成19年度 A	平成18年度 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)	備考
電灯計		2,945	2,881	64	102.2	ご家庭の電気
業務用		2,673	2,611	62	102.4	ホテル、百貨店・スーパーなど
小口	低圧	512	523	△11	97.8	商店、運輸通信業など
	高圧A	447	436	11	102.6	食品品製造業、水道業など（契約電力500kW未満）
	計	959	959	0	100.0	
大口		867	876	△9	99.0	食品品製造業、水道業など（契約電力500kW以上）
その他		47	49	△2	98.7	深夜電力、臨時電力（工事用電力）など
電力計		4,546	4,495	51	101.2	
電灯電力計		7,491	7,376	115	101.6	
（再掲） 特定 需要 規模	業務用	549	550	△1	99.8	
	産業用その他	601	604	△3	99.6	
	計	1,150	1,154	△4	99.7	

【参考】

(単位：百万kWh)

	平成19年度 A	平成18年度 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)
民生用需要	6,177	6,064	113	101.9
産業用需要	1,314	1,312	2	100.2
合計	7,491	7,376	115	101.6

2. 収支の状況

収支については、連結、単体とも2年連続の増収減益となりました。

収入面では、販売電力量の増加により、売上高(営業収益)は前年度に比べ1.3%増の1,615億21百万円(単体では、1.4%増の1,493億2千万円)となりました。

一方、支出面では、発電設備の定期点検工事による修繕費の増加や燃料価格の高騰による燃料費の増加および他社購入電力料の増加などによる影響から、営業費用は1.9%増の1,467億11百万円(単体では2.0%増の1,361億76百万円)となりました。

以上の結果、営業利益は4.3%減の148億9百万円(単体では、4.0%減の131億44百万円)、営業外損益を含めた経常利益については、6.5%減の109億71百万円(単体では、3.6%減の97億33百万円)、当期純利益は前年度に特別損失(減損損失)を計上したことによる影響から10.2%増の70億72百万円(単体では、3.0%増の65億90百万円)となりました。

■平成19年度 連結決算成績(増収減益) (単位:百万円)

	平成19年度 A	平成18年度 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)
売上高	161,521	159,395	2,126	101.3
営業利益	14,809	15,482	△673	95.7
経常利益	10,971	11,739	△768	93.5
当期純利益	7,072	6,418	653	110.2
1株当たり当期純利益	404円36銭	403円50銭	86銭	100.2

(注) 期末発行済株式数：平成19年度 17,524,723株 平成18年度 15,931,567株
 期末自己株式数：平成19年度 37,247株 平成18年度 26,266株

■平成19年度 単体決算成績(増収減益) (単位:百万円)

	平成19年度 A	平成18年度 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)
売上高	149,320	147,201	2,119	101.4
営業利益	13,144	13,690	△546	96.0
経常利益	9,733	10,096	△363	96.4
当期純利益	6,590	6,398	192	103.0
1株当たり当期純利益	376円84銭	402円25銭	△25円41銭	93.7

■平成 19 年度 単体収支前年同期比較表

(単位：百万円)

		平成 19 年度 A	平成 18 年度 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)
経常 収 益	電 灯 ・ 電 力 料	148,290	146,058	2,232	101.5
	そ の 他 収 益	1,503	1,945	△442	77.3
	(売 上 高) 計	(149,320) 149,793	(147,201) 148,003	(2,119) 1,790	(101.4) 101.2
経常 費 用	人 件 費	16,234	16,481	△246	98.5
	燃 料 費	41,468	40,607	861	102.1
	修 繕 費	16,049	15,100	949	106.3
	減 価 償 却 費	23,398	23,319	78	100.3
	他社購入電力料	13,581	12,766	814	106.4
	支 払 利 息	3,731	3,860	△128	96.7
	公 租 公 課	7,001	6,872	129	101.9
	そ の 他 費 用	18,594	18,899	△304	98.4
	計	140,060	137,907	2,153	101.6
	(営 業 利 益)	(13,144)	(13,690)	(△546)	(96.0)
	経 常 利 益	9,733	10,096	△363	96.4
	税引前当期純利益	9,733	10,096	△363	96.4
	法人税及び住民税	2,610	3,462	△851	75.4
	法人税等調整額	531	235	295	225.5
	当 期 純 利 益	6,590	6,398	192	103.0

(参考)

		平成 19 年度 A	平成 18 年度 B	増減 A-B
原油 C I F 価格	\$/bbl	78.7	63.5	15.2
石炭 C I F 価格	\$/t	67.2	57.2	10.0
為替レート	円/\$	114.4	117.0	△2.6

3. 利益配分

当期の期末配当金については、1株当たり30円を株主総会にお諮りし、中間配当金とあわせて1株当たり年間60円を予定しています。これによる当期の配当性向は15.9%となります。

4. 平成 20 年度業績予想

(1) 需要見通し

平成 20 年度の電力需要については、前年度に比べ 0.5%増の 75 億 25 百万 kWh と想定しています。

(単位：百万kWh)

	平成20年度 見通し A	平成19年度 実績 B	増減 A-B	前年同期比 A/B(%)
電 灯	2,982	2,945	37	101.3
電 力	4,543	4,546	△ 3	99.9
合 計	7,525	7,491	34	100.5

(2) 収支予想

平成 20 年度の業績については、次のとおり見込んでいます。

売上高は、燃料費調整制度に基づく調整等により増加することから前年度に比べ 9.5%増の 1,635 億円と増収となる見込みです。

一方、費用面においては、既設設備の償却進行による減価償却費の減や効率化などによる修繕費の減があるものの、燃料価格の高騰による燃料費および他社購入電力料の増、地球温暖化対策費の増加などがあり、大幅な増加となる見通しです。

一方、電気事業以外の事業については、建設関連では公共・民間工事等の売上が伸びるものの、全体としては競争の激化により経営環境は引き続き厳しくなるものと予想しています。

	連 結	単 体
売 上 高	(109.1%) 1,763 億円	(109.5%) 1,635 億円
営 業 利 益	(79.0%) 117 億円	(81.4%) 107 億円
経 常 利 益	(77.5%) 85 億円	(78.1%) 76 億円
当期純利益	(74.9%) 53 億円	(74.3%) 49 億円

(注) () は前年同期比

以 上